

# クラブ紹介

私たちのクラブ自慢を聞いてください!!

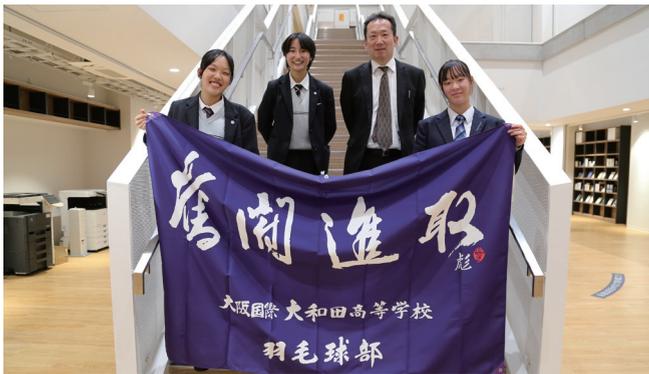


## 女子バドミントン部 Girl's Badminton Club

女子バドミントン部は現在部員16名。第77回大阪高等学校総合体育大会バドミントン女子ダブルス3年生の部で準優勝するなど、素晴らしい活躍で大注目の部活です。バドミントンはいわゆる相手がいる競技。故に集中力や瞬発力はもちろん、観察眼や心理戦が必要で、結果を残すには日々の鍛錬が欠かせません。部には経験も実力も様々な生徒が在籍していますが、共通しているのは勝ちたい気持ちが強いことです。

「普通の練習でも、コートに入ると皆ピリッと引き締まった雰囲気になります。逆に練習以外はワイワイしています。メリハリがありますね」と語ってくれたのは3年生の高石さん。その言葉通り、インタビュー中も先輩後輩にかかわらず発言や冗談が飛び交い、チームの良い雰囲気がよく伝わってきました。また、今年からは練習メニューも主体的に部員が考えるなど、より自主的な方向へチーム改革も実施中とのこと。

顧問の先生の強力なサポートと、自主的なクラブ運営で邁進するバドミントン部。今後もその活躍から目が離せません。



大和田高校時代からのチームのスローガンが書かれた旗。顧問の蔵口先生はバドミントン経験者。一同「とても熱心に指導してくれます!」

## 軽音楽部 Popular Music Club



今回取材したのは、高校軽音楽部。校内で定期的にライブを開催しており、「ライブを聴きに行った!!」という人も多いのではないのでしょうか? 実際、文化祭では野外ステージで熱いライブを繰り広げ、文化祭に華を添えましたよね。さて、そんな軽音楽部、実は新校開校に合わせフォークソング部と軽音楽部が合流してきた“新しい”部でもあります。「男女別で活動していた二つの部活が一つになり、今までにないバンドが生まれています。一方で部長は元々二人いたのが一人になったので責任重大です(笑)」と部長の岩田さん。

夏に開催された、we are SNEAKER AGESコンテストでは優秀な成績を修め、関西地区グランプリ大会に出場。さらに11月にはZepp Namba OSAKAでの演奏校にも選出されました。岩田さんに部活の特長を聞くと「大会ごとにバンドを組むので、自分のリズムで活動できますし、色んな人と関われるのが良いですね」とのこと。校内クリスマスライブも企画中とのこと、今後の活動も要チェックです!!



文化祭では様々なバンドが熱いステージを披露。観客も大盛り上がり!!

松下校長先生のコラム

**PARK**しようぜ!

We need some spark in our life !!



### 人生にはときめきが必要だ!!

みなさん、「ときめく」の意味分かりますよね。喜びや期待などの強い感情で胸がどきどきすること、胸の鼓動が高鳴ることです。しかし、この「ときめく」にも色々な使い方があります。みなさんがパッと思いつくのは、恋愛の場面でしょうか。好きな人に胸が「ときめく」わけですよね。ちなみに、その状態を英語で何と言うか知っていますか? 「I had butterflies in my stomach.」とか「My heart skipped a beat!」とか言います。どちらも直訳すると、「私のお腹の中で蝶がバタバタはためいている」とか「私の心臓が鼓動を止めた」という意味になりますが、どちらも慣用句で、「そわそわして落ち着かない」とか「胸がキュンとする」という意味です。うまく言い表していて面白いですよね。さて、「ときめく」

にはまだ違う使い方もありますよ。それは、楽しいことや待ち遠しいことに心躍らせるときです。自分の将来の姿を思い描いてや、もっと身近に、次の学校行事が楽しみ、週末に友だちと遊びに行くの待ち遠しい、なんていうのもあるでしょう。先に待ち受ける、自分の心や生活を豊かにしてくれるものに思いを寄せるのが、この場合の「ときめく」です。この「ときめき」を英語では「spark joy」と言います。“spark”、“火花が出るくらい”の喜びや楽しみというわけです。実感出てますよね。このように、色々な使い方がある「ときめく」ですが、実はこの「ときめき」は、気持ちにも人生にもハリを持たせてくれ、毎日を明るく楽しいものにしてくれる素晴らしいものなのです。「ときめき」がない人生は、非常に味気のないものになってしまいます。どうですか、みなさん。みなさんは今、ときめいていますか? もう一度言いますが、「ときめく」気持ちは毎日を明るく楽しいものにしてくれる素晴らしい気持ちです。また、将来に向かい、みなさんを成長させる大きな原動力にもなってくれます。いつでも「ときめく」心は忘れないでほしいですね。人生にはときめきが必要だ!!